

東京都病院協会会報

発行所：一般社団法人東京都病院協会／発行人：猪口正孝 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館404号室
TEL：03-5217-0896／FAX：03-5217-0898／URL：<https://tha.or.jp>／E-mail：thaoffice@tha.or.jp

2022年(令和4年)6月23日

第302号

毎月1回 定価200円(会員購読料は会費に含む)



東京海上日動

会長談話

病院のコスト対策

今後の病院のコスト高騰は深刻
迅速なデータ収集・要望が必要

一般社団法人東京都病院協会会長 猪口 正孝



猪口 正孝

BA-2への置き換わりなども進んでもかからず、以前のような感染爆発は起きず、連休以降も段階的な減少傾向となっています。

移行していくかどうかについてはまだ判断しかねますが、医療提供体制としても一旦小康状態になつたといえるでしょう。そのため、落ち着きを取り戻しているうちに、新型コロナ対応中心の体制から、通常医療体制に戻していくための準備を始めることが必要ではないでしょうか。コロナ病床を一般病

受章御祝



桑名 齊 元當任理事

令和4年春の叙勲にて、当協会の桑名齊元常任理事（社会福祉法人信愛報恩会 信愛病院理事長）が、長年に渡る地域医療への貢献と保健衛生の向上への功績が認められ、東京都病院協会の推薦により「瑞宝双光章」を受章されました。



木村 佑介 監事

また、当協会の木村佑介監事(医療法人社団メドビューエンターテイメント東京ちどり病院名誉院長)が、東京都医師会の推薦により「旭日双光賞」を受賞されました。

お二人の受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご健勝と一層のご活躍を祈念いたします

東京都病院協会
会長 猪口王者

物価高騰によるコスト問題は
早急に討処すべき課題

様子見になるだろうな、東京都病院協会として次の喫緊の課題として対応すべきと考えているのが、昨今の物価、原油価格上昇などによる病院のコスト高騰です。

電気代、ガス代といった光熱費が病院経営に大きな影響を与える可能性があるのはもちろんですが、私が危惧しているのは、食材費の値上がりが食事療養費を非常に圧迫するということです。入院時の給食費は全国一律1食当たり640円で決まつており、しかも十数年前から改定されていません。

と一番まずい食事を食べることになるかもしれないというの、道理に合わないのではないでしようか。

この問題については、国としても早急に対策を打つていただく必要があると捉えています。都病協としても今後都内病院のコストに関する影響を調べるアンケート調査を実施したいと考えております。主に電気代、食材費などを中心に、都内病院では現在どのような要因が経営を圧迫しているのか、収集・分析していく予定です。

とはいっても、病院機能や病床規模によ

床に戻すにも、言われてすぐにというわけにはいきません。感染者数が減少し、再拡大への危険因子も以前より大きくないと見込まれる今だからこそ、通常医療を正常に戻していくための準備をしていくべきでしょう。

この時点ですでに現代水準に合わせた見直しが必要なところですが、そこへ今回のコスト増が重なると、どうしても病院が持ち出さざるを得ない状況となり、悪化すれば患者さんに提供する食事の質を落としてしまうことに

つても、かかるコストの種類や度合いも変わってきますので、どのような調査内容であれば、現実の都内病院への影響を正確に抽出できるか、現在検討し準備を進めています。

特集・外国人材の活用

コミュニケーションの課題を

克服し空気を変えてほしい

一般社団法人医療人材国際交流協会事務局長 伊東 重治氏

コロナ禍でも多くの
外国人材が就職

東京都病院協会賛助会員の一般社団

トを立ち上げ、これまでに約300人超の看護師就職を支援してきました。19年からは介護職の育成・就労支援も手がけています。

病院や介護施設に会員として参加していただいており、看護師を受け入れるA会員が23病院、介護職を受け入れ



伊東 重治 氏

病院との面接、看護師国家試験合格、就職・勤務となります。

介護職は主に3つのルートがあります。日本語学校で1年、介護養成校で2年学んでから施設に入職するパターンと、日本語学校で語学力の習得と介護施設でのアルバイトを経験し、特定技能で就労しながら介護福祉士の資格取得をめざすパターンの2通りに加え、日本の看護師試験に合格できず、介護分野に進む学生もいます。実務経験も3年ほどあって看護技術は高いようですが、日本語が大きな壁になることもあります。

外国人材の受け入れ姿勢はやはり病院と介護施設で異なります。

病院、つまり看護師については、外国人看護師に対する教育が大きな課題となっています。看護師不足は深刻だけれども、コミュニケーションが壁になつて日本人の新人よりも教育に手間がかかり、受け入れを断念するケースも見られました。

一方、介護職は人材不足に悩む介護施設が本当に多いです。21年度は新たに入国した学生はいませんでしたが、既に入国していた学生が就職していくました。なかには20人の外国人介護職を雇用した施設もあります。

が出ると感じています。たとえば養成校在学中、アルバイトで介護施設に入る学生がいますが、スタッフはもちろん入所者の方々とも接する機会が多いので、自ずと、日本語は介護施設ほどではありません。1年も経つと両者のコミュニケーション力はかなり開きが出てきます。

就職後の悩みとしては、医療現場では先輩看護師の使う専門用語が難しく、申し送り時の会話が早口で理解しにくい、そとかと言つて繰り返し聞くと相手がイライラし出して聞きづらいといった声もあります。

当協会では、離職防止対策として悩みを聞く機会を設けるようにしています。病院から「了解をいただいた場合のは「O.B・O.G面談日」を設定して協

会職員が訪問するようになっています。し、昨年からは「O.B.O.G会」を設けて年度の異なるO.B.O.Gが集まる場を用意しています。同じ出身国の年長者に「現場の知恵」を聞くわけです。外国人看護師、介護職の受け入れは日本人のようにはいかないかもしれません、「新人が現場に入ることで雰囲気が変わる」ということは確実に言えます。私も病院勤務の経験があるのですが、特に慢性期病院は中途採用が中心ともうかがいます。そこへ多少日本語が不自由でも、やる気に満ちた新人が入ることで、現場の空気は変わります。もともと母国では看護学校を卒業しており、海外への就職を考えるほどの意欲も能力も高い若者たちばかりです。病院、施設にとつても受け入れ方次第で貴重な人材になるでしょうし、当協会としてもそうした支援を展開したいと考えています。

レポート

超党派・災害時医療等船舶利活用推進議員連盟
『災害時船舶活用医療整備推進法』成立一周年記念シンポジウム

災害時の医療スタッフ体制も議論

東京都病院協会広報委員会委員長
愛和病院理事長 竹川勝治

6月2日、超党派の国会議員で構成する「超党派・災害時医療等船舶活用推進議員連盟『災害時船舶活動整備推進法』成立一周年記念シンポジウム」に参加した。議員連盟は自民党の額賀福志郎衆議院議員会長、前・厚生労働大臣の加藤勝衆議院議員が会長代行、医系議員

の羽生田俊参議院議員、梅村聰参議院議員らが副会長を務めている。「災害時船舶活用医療整備推進法」は、灾害時に医療船舶を利活用した救命・救難体制を整備するために議員立法で提案され、2021年6月に成立されたものである。

近年、医療界、とりわけ激甚災害発生時には大きな被害が想定される東京都の医療現場からは、緊急時に活用できる医療施設の必要性を指摘する声が多く挙がっている。1995年の阪神・淡路大震災、2011年の東日本大震災をはじめとした激甚災害、そして今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延と、未曾有の事態が頻発していることを考えれば、遠い将来の話ととらえるべきではないだろう。災害時の医療提供と避難

シヨンセシヨンムに有賀徹・少値有介
康安全機構理事長、山口芳裕・杏林
大学医学部教授、大西健丞・ピース
ワインズ・ジャパン代表理事らが登
壇し、モデレーターを砂田尚壱・モ
バイル・ホスピタル・インター・シ
ヨナル理事長が務めて進行された。
議論は医療船の必要性はもとよ
り、それらを活用する医療スタッフ
の体制づくりにも及んだ。あらかじ
め教育、研修を受けてもらい、さら
に役割分担などについても事前に調
整、連携を取り決めておくことなど
が必要といった意見が出ていた。実
際、ドイツはそうした体制が既に構
築されているそうだ。医療用船舶の
ようなハーフ面の整備と同時に、人
員配備などの準備といったソフト面
の充実も急がれることがあらためて
確認できた。

導入は、有力な解決策のひとつと思われる。東京湾を利用した災害時の避難場所として、今回の新型コロナ感染症のような正体の知れない新興感染症と対応する場合の隔離場所としての活用などが考えられる。東京都の場合、人口が多いため特に対応をしないかなくてはならない。そうした思いから、今回のシンポジウムに参加した。

入職にあたつては、日本人の新卒採用者と同じように初期研修のあとプリセプターや先輩がOJTで個別指導しています。外国人職員も日本人の新卒職員も、スタートラインは大きく変わらないと考えており、一定の看護スキルを修得するまでの教育プロセスは分けていません。確かに、多少言語の壁もあるようですが、適宜先輩が指摘し対応しています。

高齢者医療に適応した 日本の看護への注目

現在、当院では中国・ベトナム出身の看護師、看護補助者18人が勤務しています。実際の現場での雰囲気を見ると、特に既存職員との隔たりなどはなく働いてくれていると感じています。日本人独特の曖昧な表現がなく、比較的意思表示が明確なように感じましたが、これも個人の性格や出身国との文化的背景などで変わるものだらうと納得

卷之三

「日本の看護」を高く評価し、学びたいという話をする点です。日本以外のアジア圏での看護業務というと、いわゆる医療行為が主であり、生活介助などは家族が行うのが一般的です。そのため、多くの外国人看護師は、病棟で

△外国人職員の声△

有田 敦之 氏

の介護的なケアや入退院支援などの業務経験はありません。ただ、彼女たちもいすれ母国も日本のように高齢化社会に向かっていくことをわかっているのか、すでに高齢者医療に適応し、患者の生活までトータルに寄り添う日本の看護水準を高いものと表現しているようです。とはいえて、実際にはそうしたケア業務になじめなかつたというケースもあるようですが、幸いにも当院でそういった理由での離職者は今のところありません。

病院に限らず人手不足が叫ばれるなか、海外からの人材を戦力として迎え入れる必要性はますます増していると自覚しており、当院としても、今後さらに受け入れるために何が必要だろうかと院内で話し合っています。日本の社会経済が相対的に他国比較で優位でなくなってきた現状で、何をインセンティブにしていくかは、なおさら課題と言えます。

たとえば、現状は日本人・外国人の区別なく教育していますが、一層活躍してもらううえでは、日本語や日本の社会文化などをより理解するための支援体制を、院内にも整備すべきではないかといった検討もしています。

また、外国人材がさらに増えていくのであれば、当然部門長といった管理者としての登用なども、今後病院経営者が考えるべきテーマだと感じています。

看護現場や業務の違いなどを感じることはありますか。

グエンさん ベトナムでは看護師の仕事は注射や薬の管理などで、食事介助などはありませんでした。こうした全身体を支えるケアが、日本の看護に携わるなかで良いなと感じています。

王さん 中国もベトナムとほぼ同じです。当院では患者さんと一対一で細かいケアまでしますが、中国だとご家族がずっと付き添っていることが多いので、そうしたケアをする機会はあまりないのだと思います。

Q 日本の病院で働く外国人が増えているなかで、どのような体制や支援があると、よりよいと思われますか。

グエンさん 私たちの場合、来日後に看護師として働き始めたので、日本人の看護師さんと比べて実習経験などが

王さん 私はずっと当院で勤務しています。そのため、より多くの実習や研修などに参加できる機会が増えると嬉しいです。

るので、日本の他の病院が、現場でどんなシステムで看護業務をしているのかに興味があります。そのため、イン

ターンシップのよう、別の病院で実際に働いて体験できる制度があれば、いろいろな日本の病院を知ることがで

きて良いなと思います。

